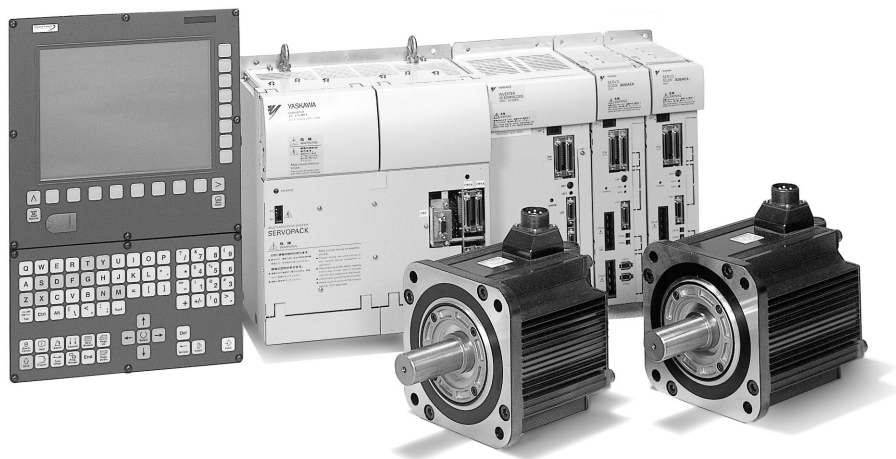


Yaskawa Siemens CNC シリーズ

API取扱説明書 HMIプログラミングパッケージ インストールガイド



安川シーメンス NC 株式会社はシーメンス株式会社に統合の後、2010 年 8 月よりシーメンス・ジャパン株式会社へ社名を変更いたしました。本書に記載の「安川シーメンス NC 株式会社」などの社名に類する名称は「シーメンス・ジャパン株式会社」へ読み替えをお願いします。

本マニュアルは Yaskawa Siemens 840DI, Yaskawa Siemens 830DI 両モデル用に作成されています。本文中の記述では両モデルの機能差は区別されておりませんが、それぞれのモデルにどの機能が標準装備されているか、どの機能がオプションで装備可能かについては別途、機能一覧表をご参照ください。また、本文中に 840DI と言った表現が出て来ますが、830DI も意味していることがあるとご理解ください。

目次

1 インストール	1-1
1.1 インストールガイドの目的	1-2
1.2 システム要件	1-3
1.3 HMI プログラミングパッケージの供給品の範囲	1-4
1.4 HMI プログラミングパッケージのサーバおよびソース	1-5
1.5 インストール	1-6
1.6 "文書" のインストール	1-7
1.7 "DDE/COM/OPC – サーバ, コントロール" のインストール	1-8
1.8 "HMI – 環境" のインストール	1-9
1.9 "HMI – PC 用拡張機能" のインストール	1-10
1.10 "WinNT® サービスパック 6" のインストール	1-10
1.11 ファイル構造とスタートメニューの概要	1-11
1.12 提供されているユーザサンプル	1-13
1.13 DDE/COM/OPC – サーバ/コントロールの インストール中にエラーが生じた場合の問題の処理	1-14

1 インストール

1.1 インストールガイドの目的

CD から HMI プログラミングパッケージの **SETUP** を呼び出す前に、このインストールガイドをお読みください。

このインストールガイドでは、以下の事柄について説明します。

- システム要件
- 供給品の範囲
- 以下のもののインストール方法
 - ”文書”
 - ”DDE/COM/OPC サーバ, コントロール”
 - ”HMI – 環境”
 - ”HMI – PC 用拡張機能”
 - ”WinNT® サービスパック 6”
- 提供するユーザサンプルに関する注釈

1.2 システム要件

HMI プログラミングパッケージのシステム要件に関する以下の説明は、プログラミング用のソフトウェアが PC にインストールされていることを前提にしています。

この PC には、840DI とリンクしている MPI インタフェースが必要です。

次の表で、HMI プログラミングパッケージ全体をインストールするのに必要なシステム要件をリストします。

表 1.1 システム要件

構成	推奨
CPU	Pentium 133MHz
ユーザメモリ	64MB
ハードディスクの空き容量	140 MB
ドライブ (インストール用)	CD - ROM
オペレーティングシステム	WindowsNT® サービスパック 6
ソフトウェア	COMおよびOPCクライアント用のHMIプログラミングパッケージの場合、開発ツール（たとえば、Microsoft 社の Developer Studio 6.0）を準備する必要があります。

1.3 HMI プログラミングパッケージの供給品の範囲

HMI プログラミングパッケージは、5 つのパーツで構成されています。詳細については、次の表で説明します。

表 1.2 HMI プログラミングパッケージの供給品の範囲

ソフトウェア	範囲
”文書 ”	文書全体。変数や PI サービスに関するオンラインヘルプを含む
”DDE/COM/OPC – サーバ, コントロール ”	DDE/COM/OPC サーバ, コントロール, マスターコントロール, OEM フレーム, およびサンプル
”HMI – 環境 ” ¹⁾	ソース, サンプル, シーケンス制御
”HMI – PC 用拡張機能 ” ¹⁾	PC で実行可能な HMI 基本ソフトウェア
”WinNT® サービスパック 5”	オペレーティング・システム WinNT®, サービスパック 6

注

1) これらのソフトウェアは、以下のような順番でインストールするようお勧めします。

1. ”HMI – PC 用拡張機能 ”
2. ”HMI – 環境 ”

1.4 HMI プログラミングパッケージのサーバおよびソース

次の表では、対応するパッケージでインストールされるサーバおよびソースを示します。

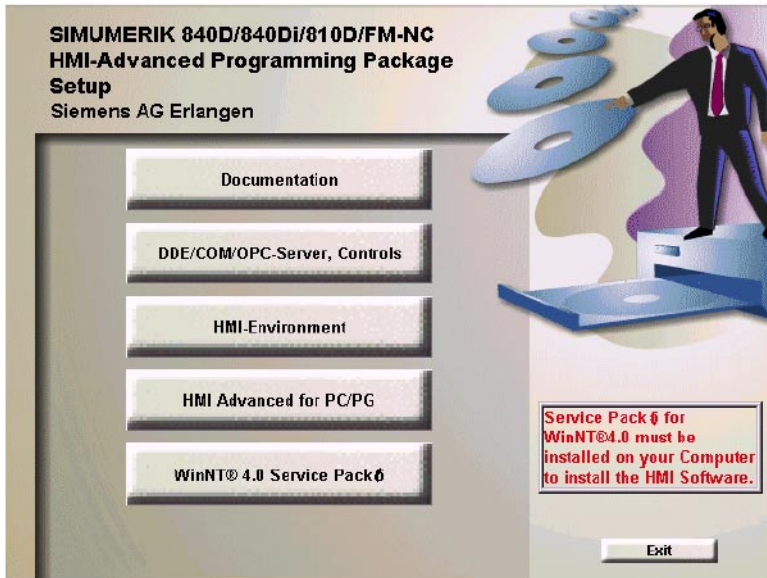
表 1.3 インストールされるサーバおよびソース

	"DDE/COM/OPC – サーバ、 コントロール"	"HMI – 環境"	"HMI – PC 用 拡張機能"
DDE サーバ	○	○	○
IMC サーバ	○	○	○
OPC サーバ	○	–	–
OEM フレームのマス ターコントロール	○	–	○
シーケンス制御	–	○	–
ヘッダ用のソース ファイル	–	○	–
サンプル	○	○	○

1.5 インストール

次の表では、HMI プログラミングパッケージを PC にインストールするのに必要な個々のステップについて説明します。

表 1.4 CD からのインストール

ステップ	手順
1	Windows を起動する。
2	CD-ROM ドライブにインストール CD を挿入する。
3	エクスプローラから CD-ROM ドライブを選択し、インストールプログラム "setup.exe" をダブルクリックして起動する。
4	<p>これで、インストールするコンポーネントを選択できます（個々のインストール可能オプションに関する説明は、以下のセクションを参照してください）。</p> 
5	インストールプログラムのセットアップ手順に従う。

1.6 "文書"のインストール

[Documentation] ボタンをクリックします。以下のいずれかを選択できます。

- (CD から) 文書を読む
- (PC への) 文書のインストール
- Adobe® Acrobat Reader のインストール

次の図で示されているように、3つの異なるボタンを使用して、これらのオプションをアクティブにすることができます。

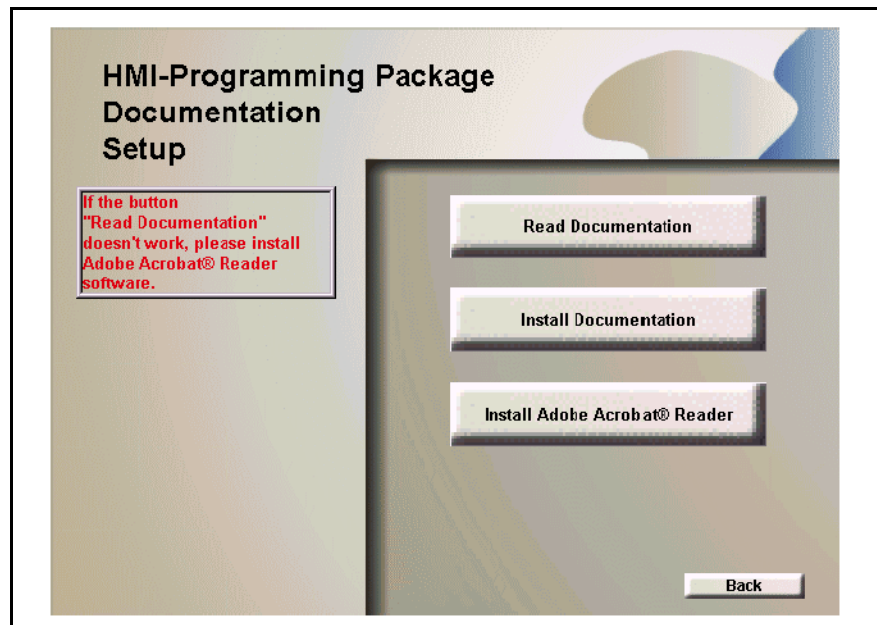


図 1.1 セットアップ

注

文書を読むには、Adobe® Acrobat Reader が必要です。

[Install Documentation] ボタンを使用して、PC に文書をインストールし終わると、
[スタート] → [プログラム] → [SINUMERIK] → [HMI-Programming Package] メニューに、その文書へのリンクが表示されます。

1.7 “DDE/COM/OPC – サーバ, コントロール” のインストール

”DDE/COM/OPC – サーバ, コントロール” のインストールが完了すると, [スタート] → [プログラム] → [SINUMERIK] → [HMI-Programming Package] メニューに, 以下のオプションへのリンクが表示されます。

- IMC サンプル

このメニューは, SINUMERIK-COM サーバインタフェース用のアプリケーションのサンプルを呼び出すために使用します。

- OPC サンプル

このメニューは, OPC サーバインタフェース用のアプリケーションのサンプルを呼び出すために使用します。

- ツール

このメニューには, ヘルププログラムが用意されています。

ヘルププログラム ”OPC-Scout” は, 以下の目的で使用できます。

- インストールされているサーバを表示する
- OPC データアクセス用にサーバをテストする。

これらの目的で, OPC データアクセス用のアプリケーションを作成する際に使用できます。

注

アプリケーション作成用のソースコードファイルは,
”...¥SIEMENS¥SINUMERIK¥HMI-Programming-Package¥SourceFiles” に格納されます。

注

サーバについては, 機能に関する記述で説明されています。

1.8 “HMI – 環境” のインストール

”HMI – 環境” のインストールが完了すると、[スタート] → [プログラム] → [SINUMERIK] → [HMI-Programming Package] → [Documentation] → [HMI-Environment] メニューに、以下のオプションへのリンクが表示されます。

- サンプルの概要
用意されているサンプルアプリケーションの概要
- サンプルの概要
- アップグレードの指示
- アップグレードマニュアル
- ホットライン FAX のテンプレート
- OEM アプリケーションのインストール
- Liesmich OEM
新しいまたは変更された機能の概説、文書への最新情報の追加
- Readme OEM

さらに、[スタート] → [プログラム] → [SINUMERIK] → [HMI-Programming Package] → [DDE] → [Server] メニューには、以下のオプションへのリンクが表示されます。

- NCDDE サーバ
データアクセスユーティリティ
- アラームサーバ
アラーム履歴表示ユーティリティ
- データ管理サーバ
データ管理ユーティリティ

■ インストールの検査

次のようにして、”HMI – 環境” が正常にインストールされたかどうか検査することができます。

C: \#Siemens \#SINUMERIK \#HMI-Programming Package \#HMI-Environment \#OEMSamples
ディレクトリから、Visual Basic を使用してサンプル 0 を呼び出します。
プロジェクトファイルを開いて起動します。こうするには、NCDDE サーバが稼働している必要があります。

注

詳しい説明は、HMI – 環境の操作ガイドを参照してください。

1.9 "HMI – PC 用拡張機能" のインストール

HMI 基本ソフトウェア（MMC）が、完全に PC にインストールされます。

MMC ソフトウェアを PC に完全にインストールし終えたら、以下のメニューから HMI – 拡張機能の標準ユーザインタフェースを起動できます。

[スタート] → [プログラム] → [SINUMERIK] → [Startup]

注

以下の順番で、ソフトウェアコンポーネントをインストールすることが前提となります。

1. "HMI – PC 用拡張機能"
 2. "HMI – 環境"
-

1.10 "WinNT® サービスパック 6" のインストール

HMI プログラミングパッケージには、"WinNT® サービスパック 6" のオペレーティングシステムが必要です。これが、オペレーティングシステムをインストールする唯一の方法です。

1.11 ファイル構造とスタートメニューの概要

以下の図により、次の事柄の概要を示します。

- ハードディスクのファイル構造
- Windows NT のスタートメニューの構造

■ ファイル構造

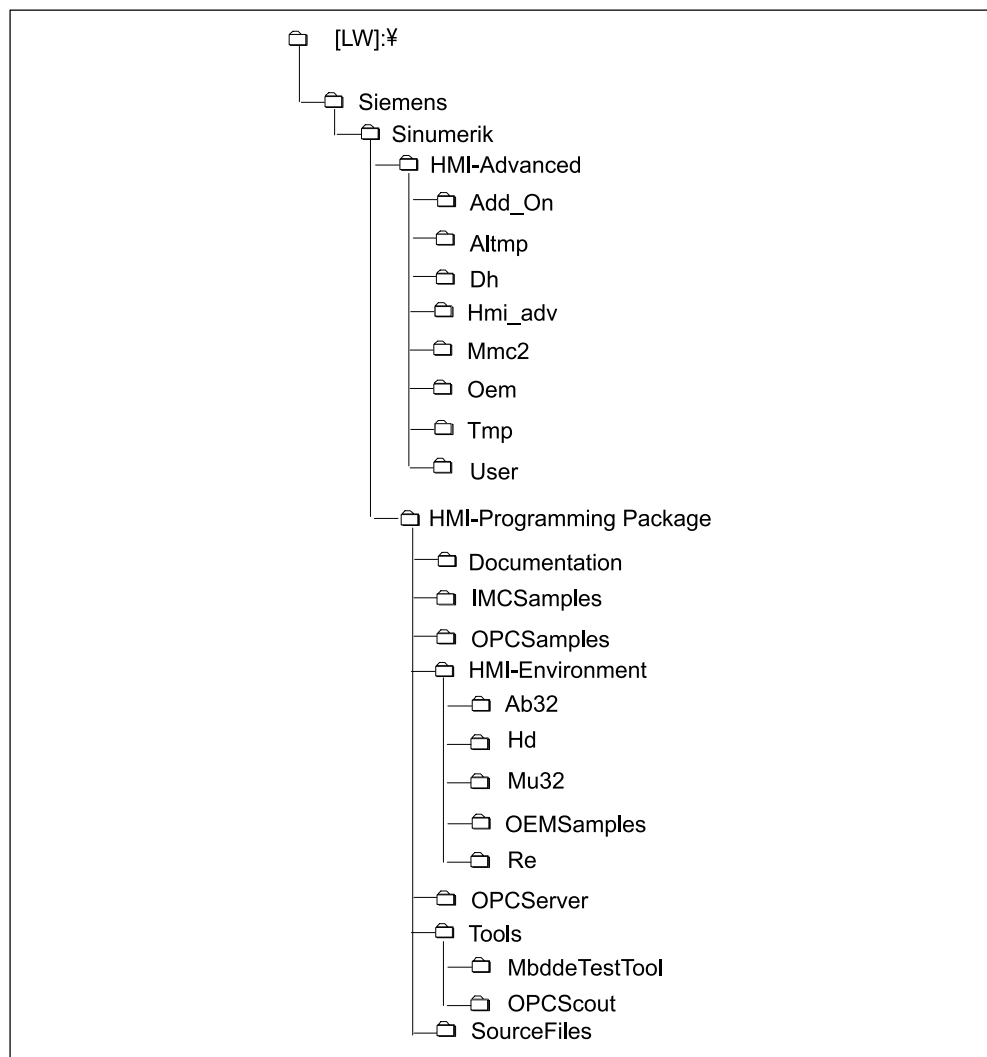


図 1.2 ハードディスクのファイル構造

■ スタートメニュー

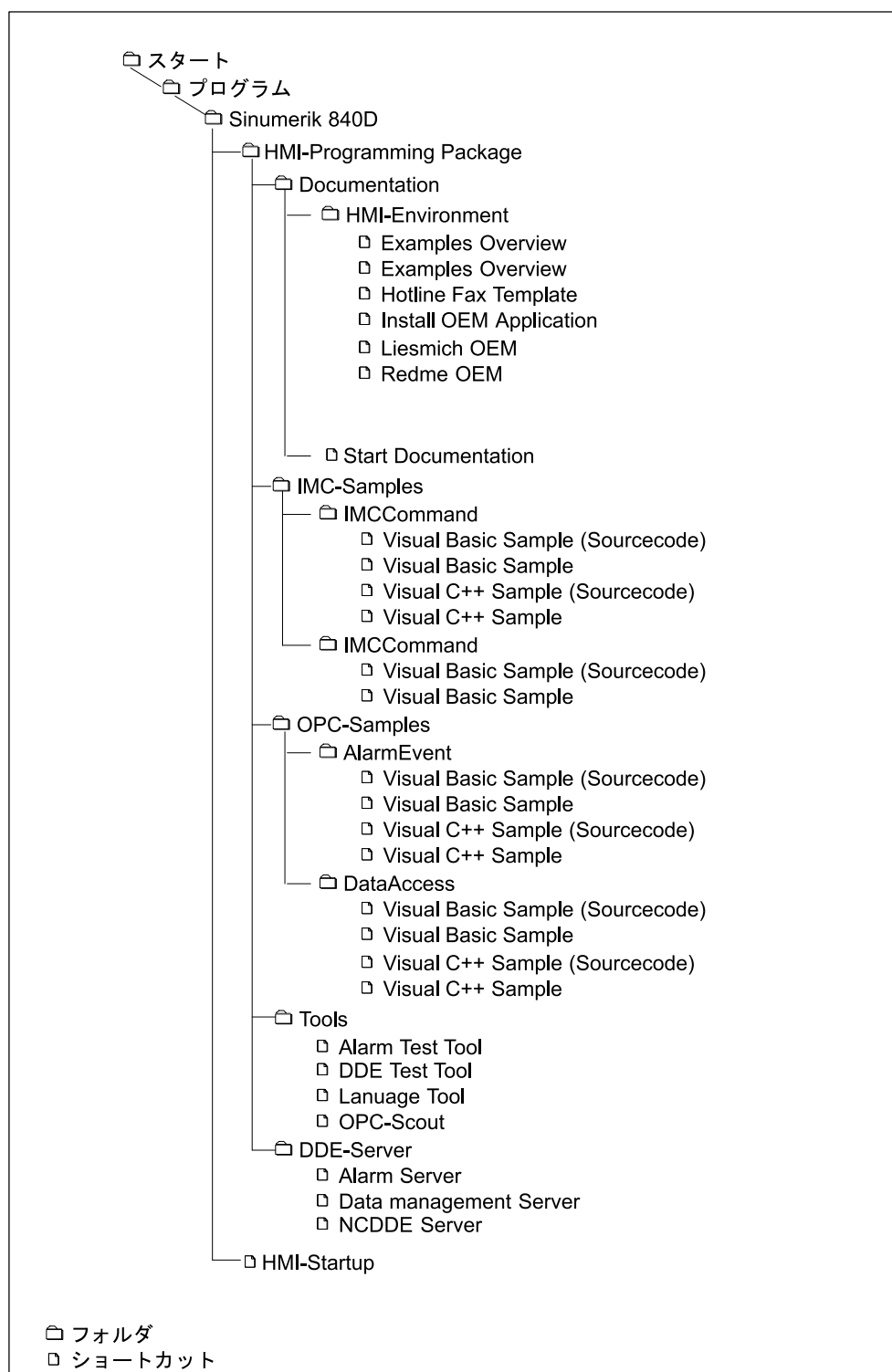


図 1.3 スタートメニュー

1.12 提供されているユーザサンプル

インストールパッケージには、ユーザサンプルが含まれています。

プログラミングパッケージをインストールすると、ユーザサンプルを使って、アプリケーションの作成に親しむことができます。

■ “DDE/COM/OPC – サーバ, コントロール” のアプリケーションサンプル

[スタート] → [プログラム] → [SINUMERIK] → [HMI-Programming Package] メニューで提供されているユーザサンプルに加え、”..¥SIEMENS¥SINUMERIK¥HMI-Programming-Package¥” ディレクトリにも、さらにサンプルが用意されています。

- SINUMERIK-COM サーバインタフェースのサンプルは、”..¥IMCSamples” ディレクトリにあります。
- OPC サーバインタフェースのサンプルは、”..¥OPCSamples” ディレクトリにあります。

注

個々のサンプルに関する説明は、対応するディレクトリの *.doc ファイルに入っています。

■ “HMI – 環境” および “HMI – PC 用拡張機能” のアプリケーションサンプル

“サンプルの概要” ファイルは、[スタート] → [プログラム] → [SINUMERIK] → [HMI-Programming Package] → [Documentation] → [HMI-Environment] メニューにあります。このファイルには、既存のアプリケーションサンプルに関する説明があります。

これらのサンプルは、”..¥SIEMENS¥SINUMERIK¥HMI-Programming-Package¥HMI-Environment¥OEMSamples¥” ディレクトリにあります。

注

個々のサンプルに関する説明は、対応するディレクトリの *.wri ファイルに入っています。

1.13 DDE/COM/OPC – サーバ／コントロールのインストール中にエラーが生じた場合の問題の処理

“DDE/COM/OPC – サーバ／コントロール”のインストール中に、理由が分からないエラーまたは問題が生じる場合には、セットアップを一種のデバッグモードに切り替えることができます。

これで、セットアップ中にログファイルが作成されます。

このログファイルは、

- インストールの開発者、または
- ホットラインが

より早くエラーを突き止める上で助けになります。

■ セットアップのデバッグモードのオン／オフ

セットアッププログラムのデバッグモードをオンまたはオフにするため、2つのプログラムがインストール CD に入っています。

- DebugSetupOn.exe (デバッグモードをオンにする場合)
- DebugSetupOff.exe (デバッグモードをオフにする場合)

インストール CD-ROM を挿入した CD-ROM ドライブに移動して、[ドライブ] : ¥hmipp¥Disk1 ディレクトリ (ここで、[ドライブ] は CD-ROM ドライブのドライブ名) に移動します。

■ セットアッププログラムのデバッグモードをオンにする

セットアッププログラムのデバッグモードをオンにするには、DebugSetupOn.exe アプリケーションを起動します。

デバッグモードがオンになると、セットアップはその活動のログファイルを作成します。

このログファイルは、C:¥Temp ディレクトリにあります。

ファイル名は、”LogHMIPPSetup.txt” です。

■ セットアッププログラムのデバッグモードをオフにする

セットアップのデバッグモードをオフにするには、”DebugSetupOff.exe” アプリケーションを起動します。

Yaskawa Siemens CNC シリーズ

本製品の最終使用者が軍事関係であったり、用途が兵器などの製造用である場合には、「外国為替及び外国貿易法」の定める輸出規制の対象となる場合がありますので、輸出される際には十分な審査及び必要な輸出手続きをお取りください。

製品改良のため、定格、寸法などの一部を予告なしに変更することがあります。
この資料についてのお問い合わせは、当社代理店もしくは、下記の営業部門にお尋ねください。

製造

株式会社 安川電機 シーメンスAG

販売

シーメンス・ジャパン株式会社

工作機械営業本部

東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー 〒141-8644
TEL (03) 3493-7411 FAX (03) 3493-7422

アフターサービス

カスタマーサービス事業本部

TEL 0120-996095(フリーダイヤル) FAX (03)3493-7433

シーメンス・ジャパン株式会社
<http://www.siemens.co.jp>